

氏 名	藏本 綾
授与した学位	博士
専攻分野の名称	看護学
学位授与番号	博甲第 7076 号
学位授与の日付	令和6年 3月25日
学位授与の要件	保健学研究科 保健学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文の題目	The Relationships among Internalized Stigma, Sense of Coherence, and Personal Recovery of Persons with Schizophrenia Living in the Community (地域で生活する統合失調症者の内面化したスティグマと SOC およびパーソナルリカバリーとの関連)
論文審査委員	教授 相原 洋子 教授 森 恵子 教授 小野 智美

学位論文内容の要旨

精神科デイケアを利用しながら地域で生活する統合失調症者を対象に内面化したスティグマ (internalized stigma: IS) と SOC (sense of coherence: 首尾一貫感覚) およびパーソナルリカバリー (personal recovery: PR) の関連を検討した。郵送による質問紙調査を行い、270 名への配付のうち 149 名から返答があり、140 例を分析対象とした。IS が PRに、SOC が IS、PR それぞれに影響を与えるという仮説モデルを設け、構造方程式モデリングにより検討した。モデル適合度は概ね妥当であり、SOC は直接 PR を促すのではなく、IS の影響を軽減することで PR を促進すると考えられた。支援者は、自身の支援内容を振り返るとともに、活動を通して当事者が自身の経験を振り返る機会をもち、グループ内でその経験を共有できるようにしていくことで、統合失調症者の IS の軽減および SOC の向上へとつながり、PR が促進される可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本学位論文は、統合失調症に焦点を当て健康生成モデルを参照とし、Sense of coherence, internalized stigmaとpersonal recoveryの3つの概念の関連性を検証し、新たな構造モデルとして検討する内容である。Personal recoveryを促すうえで、他の2つの概念がどのように影響しあっているのか、3つの概念の関係性を構造化するうえで適切な手法をとられ、これまでの知見に加えて新たな示唆が得られており、よって本論文は博士論文に適合すると考える。

一方で、調査対象者の選定にあたってデイケア施設を窓口として実施しており、回収率が低く、また調査協力を得られなかった理由も様々であり、地域で暮らす統合失調症者全般に本理論モデルが適合するかという点は疑問として残った。またpersonal recoveryという概念の定義が不明確であったために、研究結果を今後の実践にどのように応用していくのかの検討が必要であった。これらの指摘をふまえ、今後の課題として引き続き研究を深めてほしい。